

先生のための「夏休み経済教室(大阪会場)
(2024年8月13日 大阪取引所)

＜経済の視点で歴史の授業を創る＞

経済の視点に着目した
日本貿易史の授業創り提案

佐藤央隆(名古屋市立南陽中学校)

Ⅰ 経済の視点で歴史的事象を学ぶことの意義

<公民的分野と歴史的分野との連携について>

[歴史的分野 内容C(2) 現代の日本と世界]

歴史の大きな流れの中で現代の課題を
考え続ける姿勢をもつことの大切さに
気付くことができるようにして、
公民的分野の学習へ向けた課題意識を
もつことができるようにする。

文部科学省 [2017]『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』p.121

〔公民的分野 目標〕

歴史的分野における推移や変化などといった多様な視点を踏まえた上で、公民的分野においては、対立と合意、効率と公正などの現代社会を捉える概念的な枠組みを「視点や方法（考え方）」として用いて、社会的事象を捉え、考察、構想に向かうことが大切である。

文部科学省 [2017]『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』p.127

<経済学を歴史で学ぶ理由>

歴史は「取引のあり方や値段の決めり方を切り口として、人間がどのような行動をとるのか」を探るヒントの宝庫なのです。

過去の出来事と現代の問題との間を経済学を通じて結びつけて考えることができる、ここに歴史で学ぶ面白さがあります。

横山和輝 [2018]『日本史で学ぶ経済学』東洋経済新報社、p.4

2 「経済の視点」とは

<中学校社会科における「社会的な見方・考え方」>

[歴史的分野]

「社会的事象の歴史的な見方・考え方」

「社会的事象を、**時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けること**」とし、考察、構想する際の「視点や方法(考え方)」

文部科学省 [2017]『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』p.83

〔公民的分野〕

「現代社会の見方・考え方」

社会的事象を、政治、法、経済などに関わる
多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え、
よりよい社会の構築に向けて、
課題解決のための選択・判断に資する概念や
理論などに関連付けることとし、
考察、構想する際の「視点や方法(考え方)」

文部科学省 [2017] 『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』p.126

＜経済に関する様々な事象や課題を捉え、考察、
構想する際の概念的な枠組み＞

対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性など

文部科学省(2017)『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』p.141

これらに加え、

機会費用やトレード・オフ、インセンティブなど

栗原久 [2024]「まず『教える側の専門知識が不足している』問題の解決を」
『教科科学 社会科教育』(8月号)明治図書出版、p.15

<経済の視点と貿易に関する現代の社会的事象>

対立と合意

⇒ 貿易摩擦、世界貿易機関(WTO) など

効率と公正

⇒ フェアトレード、モノカルチャー経済 など

分業と交換

⇒ 比較優位(国際分業と自由貿易)、
経済のグローバル化 など

希少性

⇒ 食料自給率、レアメタル など

機会費用 ⇒ 比較優位(労働生産性) など

トレード・オフ ⇒ 産業の空洞化 など

インセンティブ ⇒ 貿易政策(関税) など

3 日本の交易・貿易に関する**歴史上の出来事** (弥生時代～明治時代)

<弥生時代>

- ①倭の奴国王が**後漢に使いを送る**(57年)
- ②卑弥呼が**魏に使いを送る**(239年)

<古墳時代>

- ③倭王武が**宋に使いを送る**(478年)

<飛鳥時代>

- ④小野妹子を隋に送る(607年) (**遣隋使**)
- ⑤第1回の**遣唐使**を送る(630年)

<平安時代>

- ⑥**日宋貿易**(10-13世紀)

<室町時代>

- ⑦足利義満が**日明貿易**(勘合貿易)を始める
(1404年)

<安土桃山時代>

⑧ **南蛮貿易** (16-17世紀)

<江戸時代>

⑨ **朱印船貿易** (16-17世紀)

⑩ オランダ商館を長崎の**出島に移す** (1641年)

→「**鎖国**」体制の完成

⑪ **日米和親条約**を結ぶ (1854年)

→片務的最恵国待遇の容認

⑫ **日米修好通商条約**を結ぶ (1858年)

→領事裁判権の容認(治外法権)、

関税自主権の欠如

⑬ 英・米・仏・蘭と**改税約書**を結ぶ (1866年)

→日本の輸入関税率が江戸末期の5・20・35%
から一律5%に引下げ

<明治時代>

- ⑭ **日朝修好条規**を結ぶ(1876)
→日本の領事裁判権を認め、
朝鮮の関税自主権を否定
- ⑮ **日英通商航海条約**を結ぶ(1894年)
→領事裁判権の撤廃、関税自主権の一部回復
(関税率の引上げ)、最恵国待遇の相互化
- ⑯ **日清通商航海条約**を結ぶ(1896年)
→日本の領事裁判権を認め、
清の関税自主権を否定
- ⑰ **日米通商航海条約**を改正する(1911年)
→関税自主権の完全回復

4 経済の視点に着目した日本貿易史に関する 学習内容の例

<「**対立と合意**」に着目した学習>

【事項】近代日本の国際的地位の向上と対外政策
(⑮**日英通商航海条約**、⑰**日米通商航海条約**)

【ねらい】

- 条約改正を基に、欧米諸国との関係の変容を理解する。
- 条約改正の背景やその影響などを多面的・多角的に考察・表現する。

【問い】条約改正はどのように進められたのか

<「**効率**と**公正**」に着目した学習>

【事 項】商品経済の発達と貨幣経済の進展
(⑦**日明貿易**)

【ねらい】

- 東アジアの交易の特徴を基に、貨幣の流通を理解する。
- 明銭の大量流入による国内経済への影響を多面的・多角的に考察・表現する。

【問 い】明銭の大量流入によって、貨幣の流通が阻害されたのはなぜか

<「分業と交換」に着目した学習>

【事項】律令国家の成立と東アジアとの関わり
(⑤遣唐使)

【ねらい】

- 日本が唐の政治制度や文化を取り入れることで国家体制の整備を進めたことを理解する。
- 遣唐使の派遣によって日本の文化に国際的な要素がもたらされたことを多面的・多角的に考察・表現する。

【問い】天平文化にはなぜ、世界の諸地域の文化の影響が見られるのか

<「希少性」に着目した学習>

【事項】金銀比価の違いと江戸幕府の貿易統制
(⑩鎖国)

【ねらい】

- 金銀比価の違いによる影響を基に、江戸幕府の貨幣政策を理解する。
- 金銀の流出制限の背景や意義を多面的・多角的に考察・表現する。

【問い】江戸幕府はなぜ、金銀の流出を制限したのか

<「**機会費用**」に着目した学習>

【事 項】小国の形成と中国との関わり
(①**後漢**・②**魏**・③**宋** に使いを送る)

【ねらい】

- 中国の歴史書を基に、日本における小国の形成を理解する。
- 中国に朝貢した理由を多面的・多角的に考察・表現する。

【問 い】倭の王たちは中国とどのような関係を結んでいたのか

<「トレード・オフ」に着目した学習>

【事項】南蛮貿易とキリスト教の布教
(⑧南蛮貿易)

【ねらい】

- 新航路の開拓や宗教改革を背景とした南蛮貿易の特徴を理解する。
- 南蛮貿易が日本の社会に及ぼした影響を多面的・多角的に考察・表現する。

【問い】キリスト教の布教が南蛮貿易を行う条件とされたのはなぜか

<「インセンティブ」に着目した学習>

【事項】貿易上の不平等の拡大と自由貿易の促進
(⑬改税約書)

【ねらい】

- 安政の五カ国条約を基に、関税政策の内容を理解する。
- 関税率の引上げによる影響などを多面的・多角的に考察・表現する。

【問い】欧米列強はなぜ、日本に改税約書の調印を強く要求したのか

5 資料を活用した学習活動の例

(1) 「鎖国」体制の始まり

【クイズ】江戸時代、幕府から長崎での貿易が認められたのは、中国ともう一つの国はどちらか。

A. ポルトガル

B. オランダ

答えは「B. オランダ」。三択ならばスペインなども。次の活動①では貿易とキリスト教布教(教育出版<歴史706>119頁など)の「トレード・オフ」の関係など、活動②では日本と外国の金銀比価の違い(同162頁)による「希少性」などにも触れる。

【活動①】ポルトガルとオランダに関する**出来事**を年表にまとめる。

ポルトガル			オランダ		
年号	出来事	頁数	年号	出来事	頁数
15C後半	大航海時代に入る	102	1581	スペインから独立する	103
1543	鉄砲を伝える	104	1602	東インド会社を設立する	103
1549	ザビエルがキリスト教を伝える	104	1641	商館を長崎の出島に移す	119
1639	船の来航を禁止する	119			

※「頁数」は教育出版発行の教科書(歴史706)の掲載ページ数

【活動②】オランダとの貿易における主な**輸出入品**を資料から読み取り、その主な用途を考える。

輸入品	輸出品
生糸、絹織物、砂糖、薬品など	銀、金、銅など
高価な贈答品など	金銀比価の差益獲得など

(2) 「鎖国」体制の終わり

【クイズ】幕末期、最初に日本を**開国**させ、**通商条約**を結んだのは、どちらの国か。

A. イギリス

B. アメリカ

答えは「B. アメリカ」。三択ならばロシアなども。次の活動①ではイギリスとアメリカの対外政策の差異による「機会費用」など、活動②では日米修好通商条約の締結における幕府の「インセンティブ」など、活動③では日本の関税率引下げに向けた欧米列強の「インセンティブ」などにも触れる。

【活動①】イギリスとアメリカに関する出来事を年表にまとめる。

イギリス			アメリカ		
年号	出来事	頁数	年号	出来事	頁数
18C後半	産業革命が起こる	152	1775	アメリカの独立戦争が始まる	150
1840	アヘン戦争が始まる	157	19C前半	西部の開拓を進める	154
1853	クリミア戦争が始まる	154	1853	ペリーが浦賀に来る	160
1856	第2次アヘン戦争が始まる	157	1856	総領事ハリスが下田に着任	161

※「頁数」は教育出版発行の教科書(歴史706)の掲載ページ数

【活動②】日米修好通商条約第4条の条文から日本がアメリカと条約を結んだ理由を考える。

第4条

日本に対して輸出入する商品は別に定めるとおり、日本政府へ関税を納めること。…?の輸入を禁止する。もしアメリカの商船が?を3斤以上持ってきた場合は、超過分を日本政府が没収する。

【活動③】日米修好通商条約における「不平等」の内容、問題点や関係する出来事についてまとめる。

内 容	問題点・関係する出来事
領事裁判権の容認 (治外法権)	<ul style="list-style-type: none"> ● 法制度の未整備 ● 言葉によるやりとり □ ノルマントン号事件(1886年) イギリス領事による審判で船長は無罪
関税自主権の欠如 (協定関税制)	<ul style="list-style-type: none"> ● 生糸などの大量輸出 → 品不足・物価高騰 ● 綿織物などの大量輸入 → 国内産業を圧迫 ※ 近代産業の発展に貢献した面も… □ 改税約書に調印(1866年) 輸入関税率を5%(食料など)・35%(酒類) ・20%(その他)の従価税から一律5%の従量税に引下げ、自由貿易を促進 ※ 関税率20%は主要国と同程度水準だった…

6 授業創り・改善に重要な視点

<「授業創り」における教示>

社会科教師は、**一般市民としての感覚**を失ってはならないと思う。しかし、教科教育の専門家としては**「市民=素人」**のままでは**よいはずがない**。

「経済の仕組みをわかりやすく伝える授業づくり」の「はじめの一步」は、この問題の解決である。

栗原久 [2024] 「まず『教える側の専門知識が不足している』問題の解決を」『教科科学 社会科教育』(8月号)明治図書出版、p.14・15

<歴史的分野の学習指導における自己の課題>

複雑・多様化した現代の「経済」につながる
基礎的・基本的な学習内容を

- ① **構造化・焦点化**し、
- ② 現在とのつながりなどに着目して
多面的・多角的に考察したり、
- ③ 複数の立場・意見を踏まえて
公正に選択・判断したり、
- ④ 思考・判断したことを説明・議論したり
する活動を **生徒の実態に応じて充実**させる。

【参考文献】

<外交史について>

井上寿一 [2014] 『日本外交史講義』(新版)岩波書店

佐々木雄一 [2022] 『近代日本外交史－幕末の開国から太平洋戦争まで』
中公新書

<経済史について>

平井健介・島西智輝・岸田真(編著)[2021] 『ハンドブック日本経済史
－徳川期から安定成長期まで』 ミネルヴァ書房

横山和輝 [2016] 『マーケット進化論－経済が解き明かす日本の歴史』
日本評論社

横山和輝 [2018] 『日本史で学ぶ経済学』 東洋経済新報社

<国際貿易について>

小林尚朗・篠原敏彦・所康弘(編) [2017] 『貿易入門－世界と日本が見えてくる』 大月書店

ジョン・マクラレン(著)、柳瀬明彦(訳)[2020] 『国際貿易－グローバル化と政策の経済分析』 文真堂

多和田眞・柳瀬明彦 [2018] 『国際貿易－モデル構築から応用へ』 名古屋大学出版会

P.R.クルーグマン・M.オブストフェルド・M.J.メリッツ(著)、山形浩生・守岡桜(訳)[2017] 『クルーグマン国際経済学 理論と政策 上・貿易編』 (原書第10版) 丸善出版

<教科教育について>

栗原久 [2024] 「まず『教える側の専門知識が不足している』問題の解決を」 『教科科学 社会科教育』 (8月号) 明治図書出版

国立教育政策研究所教育課程研究センター [2020] 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 社会】』 東洋館出版

文部科学省 [2018] 『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』 東洋館出版

ご清聴ありがとうございました